

## 林地開発調書(変更)

赤字：変更後  
黒字：変更前

整理番号	9-3				
申請者	愛知県名古屋市中区錦二丁目18番19号 中日本高速道路株式会社 東京支社長 松井 保幸				
開発行為の目的	道路の新設				
開発行為に係る事業又は施設の名称	第二東海自動車道建設事業				
所在場所	御殿場市茱萸沢字藤畑 611-1 ほか1筆				
森林計画区名	富士森林計画区				
開発面積	事業区域面積	"	1.4008 ha		(参考)中日本高速道路(株)全体面積 (130.3528 ha)
	事業区域内の森林面積	"	0.1232 ha		(52.6797 ha)
	形質変更の森林面積	"	0.1232 ha		(52.6797 ha)
用途別内訳面積	開発後の用途	面積			百分率
		5条森林	5条森林以外	計	
	本線	0.0362ha	0.3851ha	0.4213ha	30.1%
		0.0122ha	0.6290ha	0.6412ha	45.8%
	側道	0.0308ha	0.3835ha	0.4143ha	29.6%
		0.0300ha	0.3700ha	0.4000ha	28.6%
	調整池	0.0012ha	0.0596ha	0.0608ha	4.3%
		0.0450ha	0.0046ha	0.0496ha	3.5%
	残置森林	0ha	0ha	0ha	-
	造成森林	0ha	0ha	0ha	-
造成緑地	0.0460ha	0.3284ha	0.3744ha	26.7%	
	0.0360ha	0.2740ha	0.3100ha	22.1%	
側道法面	0.0000ha	0.1210ha	2.3703ha	9.3%	
	0.0090ha	0.0410ha	3.2110ha	3.6%	
計	"	"	"	"	
		0.1232ha	1.2776ha	1.4008ha	100%
工事計画期間	着工 平成25年3月29日から 完成 変更後 令和7年3月31日 変更前 令和6年3月31日				
所要経費	用地費				
	工事費				
	本工事費				
	防災工事費				
	計				
森林の現況	地質	土質	傾斜	標高	
		玄武岩質 (愛鷹火山砕層物)	宝永山スコリア	0.9度 — 0.7~1.0度	496~498m
	樹種	林齢	生育状況	降水量	
		スギ・ヒノキ他	20~40年	中	2,964mm

生息動物 風致その他	平成 23~24 年度にかけて、当該申請の区域（延長 0.23km）を含む御殿場東工事区（延長 4.4km）内及びその周辺において事業者が希少野生動植物調査を実施。 [Redacted]
周辺地域の 施設の状況	申請の区域は、富士山南東山麓に位置する御殿場扇状地と呼ばれる緩斜面が広がる地域である。周辺には田畑に囲まれて宅地や森林が点在しており、事業区域の東側には東名高速道路が南北に走っている。調整池放流先は事業区域を南北に分断している普通河川渡場川で、東方に流下した後、二級河川小山川に合流する。
水源かん養機能に直接 依存する水需要の状況	当該開発区域に直接水源を依存する地域はない。
開発行為が周辺地域の 環境へ及ぼす影響	造成緑地を配置し、周辺環境に及ぼす影響の軽減を図る。
特定林分指定状況等	なし
他の法令等との関連	別紙「他法令等の処理状況」のとおり
林地開発に対する 関係者の意見	御殿場市長：意見聴取中
土地所有者の同意状況	全て買収済み
その他	<p>本件は平成 25 年 3 月 29 日森保第 313 号 - 2 により許可を受けた、中日本高速道路株による林地開発（道路の新設）の変更申請である。</p> <p>1 経緯 [Redacted]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本申請では調整池の設置位置が変更され、諮問の取扱い基準第 1 (2) ウに該当するため、個別諮問となった。</li> </ul> <p>2 変更理由 調整池は当初河川際に設置予定であったが、河川及び調整池の堤体を保護するため、調整池の設置位置を変更する。 また、隣接する地権者との協議及び市に移管する側道の施工方法に関して市との協議が遅延したため、完了予定年月日を延長する。</p> <p>3 主な変更内容 防災計画の変更（調整池の位置の変更）</p> <p>4 立地 特に問題ない。</p> <p>5 防災計画 必要容量を満たす調整池、沈砂池を設置する。</p> <p>6 環境の保全 開発目的が「道路の設置」であるため、森林率の基準はない。橋梁区間である本区域では、側道法面に造成緑地を配置する。</p>
調査者職氏名	森林保全課 主査 森 勇介
調査年月日	令和 6 年 2 月 2 日